



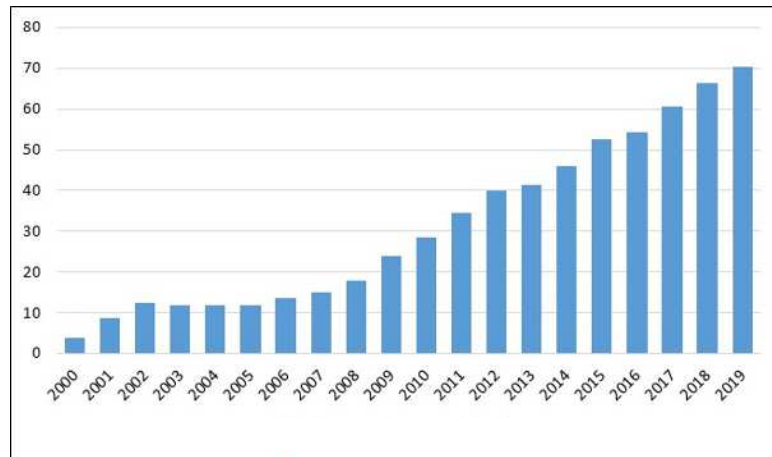
中国の海外留学事情

北陸銀行 国際部
大連駐在員事務所
金春梅

1. はじめに

中国の海外留学生数は21世紀以降急増し、2000年の3.9万人から2019年の70.35万人へと18倍近く増加しています。コロナ禍の2020年は40.09万人に一旦減少しましたが、2021年は52.37万人、2022年には66.21万人とコロナ前の水準に回復してきています。

【図1】2000-2019 年間中国人留学生人数の推移 (単位:万人)



出所:「中国教育部」データより事務所作成

【図2】2019-2020年度 主な留学先国における中国人留学生数と所在国留学生総数の割合

国	中国人留学生 人数のランキング	中国人留学生数 (万人)	同国の留学生 総人数(万人)	同国の留学生に 占める割合(%)
アメリカ	1	37.25	107.55	34.64
オーストラリア	1	16.58	46.36	35.76
イギリス	1	12.9	55.15	23.39
カナダ	2	9.86	50.33	19.59
日本	1	9.4	22.84	41.16
ドイツ	1	3.99	30.22	13.2
ロシア	2	3.75	35.33	10.61
フランス	3	2.84	35.8	7.93
ニュージーランド	1	2	5.3	37.74

出所:「中国留学発展報告(2022)」データより事務所作成

2. 最近の動向・特徴

(1) 留学先国の変化

中国は世界最大の留学生輸出国として、多くの国・地域において1位を占めています。コロナ後、ビザ要件などの関係でアメリカへの留学申請者が減っており、今後中国の学生は欧州やアジア諸国（日本、シンガポール、マレーシア、香港・マカオ）など、留学環境やビザ政策がより友好的な地域にシフトしていくと予想されています。

中国人留学生数のうち日本向けは、2023年末現在10万人を突破し、第5位（英語圏以外では第1位）となっています。留学生が日本留学を選ぶ理由として、①留学申請が容易で、留学費用が比較的安い（欧米留学費用の1/2～1/3、日本の大学には留学生に対する学費減免制度や奨学金制度がある）②先進的な教育、③文化的親近感と地理的位置、④合法的にアルバイトができる、⑤医療保険などの社会福祉が充実、⑥社会治安が良い、⑦就職しやすい、などが挙げられます。

(2) 低年齢化と高学歴化

中国の有名な民間教育機関「新東方」は、ここ5年間の調査・研究結果を発表しています。留学希望者の年齢は主に15～21歳ですが、下記のように年齢層が変化しており、高学歴を目指す学生の増加が目立っているそうです。

①留学の低年齢化、14～17歳の留学希望者が増加傾向

・過剰な点数優先の受験教育・高校入試競争を回避する：

「中考分流（中学卒業後、高校と職業訓練学校への進学率を6：4⇒5：5にする教育政策）」に対し、親としては子供を職業訓練学校へ進学させたくないと考えています。

・海外の教育の質がより高く、子供に適している：

中国国内の入学試験は全科目まんべんなく知識を記憶することに重点を置いています。海外の教育は個性の育成を重視しているため、子供は様々な社会活動に参加でき社会生活に適応しやすくなると考えます。

一方で生活・学習上の自立性がまだ低く留学目的が明確でない幼い子供をそのまま留学させると、子供が精神的に不安定になり留學生活に適応できなくなる不登校や不良化リスクも指摘されています。

②大卒者の海外修士・博士課程志望者の上昇志向

大卒者としては以下を背景に中国国内の就職環境が厳しく、就職に対するストレスが倍増しているため、海外留学を通じて学歴・就職競争力を高めたいと考えています。

- ・新卒就職率が50%しかなく、修士博士など高学歴者の就職率が学部生より高い
- ・海外大学院の修士修了時間は1～2年で、中国国内の2～3年よりも短いことから、早く修士修了したい

(3) 保護者の影響

子供の海外留学は、もはや特別なことではなくなっています。

「新東方」の調査によると、親の職業が「会社員」である留学生は2017年から増え始め、今や職業別の中心層になっています（41%～45%）。これは海外留学がエリート・富裕層家庭の特権ではないことを示しています。

さらに、親が留学経験のある留学生が年々増加（昨年比3.1%増の16.5%）しており、子供は幼児期より親から海外に関する話を聞いてきたため、ほかの家庭より留学志望が強く、留学後の異文化適応能力も高いと言われています。

3. おわりに

調査によると、中国に帰国する留学生の増加に伴い、中国企業の留学生に対する条件も高まっています。特に海外からのハイエンド人材に対しては、給料や戸籍だけでなく人材導入政策や福祉の面で厚遇されてきています。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。
記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
((株)人材情報センター内)
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp